

まほろば



2021.6・7
第230号

院長就任あいさつ

七月一日より本院に勤務させて頂くことになりました。前任地は弘前大学医学部附属病院で脳神経外科医として従事してきました。本院は来年4月より弘前市立病院と統合し弘前総合医療センターへと発展する予定ですが、構想を進めたのが国立病院機構、弘前市、青森県、そして弘前大学であり、大学の指名により着任することになりました。

地域住民に優良な医療を提供することは全医療機関共通の目標ですが、新中核病院となる本院は成立経緯を踏まえると、地域住民からの期待が大きく重大な責務を負っていると言えます。その期待に応え中核病院の名に相応しい姿となるように職員の皆様とともに力を合わせ努めていきたいと考えています。

本誌名の「まほろば」はユートピア（理想郷）を意味する古語でこれまで多くの和歌にも詠み込まれてきました。本院が地域住民は勿論のこと、本院職員にとっても真の「まほろば」になりますようにお手伝いさせて頂ければ幸いです。

病院長：大熊 洋揮



(写真撮影のためマスクを外しています。)

看護学校防災訓練



6月23日、看護学校で火災を想定した防災訓練が行われました。警報後の放送で出火場所と避難場所を確認し、避難ルートを学生が考え行動しました。学生からは「訓練の時と違う場所から出火したらどう避難するか」、「消火器の場所を知る必要がある」、「患者さんを守るためにはどのように行動するか、自分たちで考える必要がある」などの反応がありました。今日の訓練の事だけでなく今後のことについても考える機会となりました。

火災がおきた時の行動は訓練で培われます。いざという時に自分で考え、行動できるよう防災に関する知識を持つこと、緊張感をもった訓練の必要性を改めて感じました。

教員：福井 香織



臨床研修医採用説明会 (web)

2021年度臨床研修医採用説明会を5月29日 web で、7月16日当院で開催しました。

コロナ禍の影響で web 開催となった全国説明会では137名、地元を対象とした院内開催では27名の参加があり、例年よりもはるかに多く、新中核病院としての機能に対する関心の高さを示す結果であったと思われます。

わが国での高齢化・医療需要総量のピークは全体で2030年頃といわれており、これに向けての新中核病院の機能として、複合疾患に対する対応が挙げられます。超高齢化社会においては、結果として「食べられない」ことが主訴となり、医療機関を受診されることが非常に多く、非がん疾患患者（認知症、脳血管障害、老衰、呼吸器疾患、慢性心不全、慢性腎不全、神経難病を対象とした場合）の、死亡前1週間における症状は、食欲不振は83.3%が第一位、嚥下障害は72.3%で第2位という報告もあります。このように老化が進行し機能が低下した高齢者においては、廃用症候群、転倒、骨折、褥瘡、失禁、感染症、せん妄といった症候が単一ではなく複合的に存在します。降圧剤、抗潰瘍剤、抗精神病薬など持続投与中で、感冒や脱水から電解質異常をきたし、筋力低下→frailty→嚥下障害・食欲不振→低栄養→筋力低下、誤嚥→さらに肺炎、発熱、意識障害、せん妄、電解質異常、低栄養、筋力低下といったいわば悪循環に入り救急搬送となる事例が日常的に多数経験されます。

これらの分野に対する医療は、患者数の増加とともに、周囲との医療機関との連携のなかで、特に急性期中核病院の果たす役割が大きくなっていくことが想定されています（勿論十分な専門性を担保しつつではあります）。

地方における医師不足が叫ばれている中で、次世代の医療を担う人材育成のため、臨床研修基幹型病院として募集人員を増員し、教育環境の充実を図って参る所存です。皆様方のご理解・ご協力の程よろしく御願ひ申し上げます。



臨床研究部長：石黒 陽

リハビリテーション科紹介

リハビリテーション科は、理学療法士8名、作業療法士3名、言語聴覚士4名の計15名のスタッフ数で日々の業務を行っています。

リハビリテーションの施設基準としては、脳血管疾患リハビリ、廃用症候群リハビリ、運動器リハビリ、呼吸器リハビリの認定を受けています。

対象疾患は、急性期における小児から高齢者まで幅広く、骨関節疾患、呼吸器疾患、脳性麻痺、発達遅延、廃用症候群、脳血管障害などです。

医療連携にも取り組んでおり、大腿骨頸部骨折の地域連携パスに参加し、回復期へ橋渡しをしています。

来年4月の新中核病院の開院に向けて準備を進めていて、リハビリ棟は新棟の2階に移転し面積は2倍以上となります。

これからも、スタッフ一同で地域に貢献できるよう努めていきます。

理学療法士長：佐藤 洋



研修医便り

お世話になっております。研修医一年目の萩原将吾と申します。研修が始まり三か月が経ちました。いまだ分からないことばかりですが、皆様から優しくご指導いただき、日々少しずつの成長を感じながら精進しています。今は消化器内科の澤谷先生のもと研修させていただいております。将来は病理診断科に進みたいと考えています。

私の趣味はキャンプ、読書、競馬です。キャンプはよく友達と山の中の無料キャンプ場で焚き火をしていたことがきっかけで、どんどん本格的になりました。夜は星がきれいに見え気分は最高なのですが、昔流れ星をみて感動し「みんなと一緒に焚き火をしながらこんなきれいな星空見られてよかった。最高だ!」と急に叫び、爆笑され、今でも焚き火の度に笑われるのでソロキャンプが好きです。読書は小説を読み、好きなジャンルは SF です。今競馬で一番好きなレースは第 64 回日本ダービーです。これからもよろしくお願い致します。

臨床研修医：萩原 将吾



食事で夏バテを予防しましょう

気温や湿度が高くなる時期は体がだるい、食欲がない、疲れやすいなど暑さによる夏バテが起こりやすくなります。体調が悪いと食事が偏りやすくなりますが、夏バテを予防するには栄養をバランスよく補給することが大切です。そのため、今回は夏にぴったりのさっぱりと食べやすく野菜と肉を摂取できるレシピをご紹介します。

冷やし豚しゃぶサラダ

《材料 (2 人分)》

- ・豚肉 ・・・140g ☆ポン酢 ・・・大さじ 1
- (しゃぶしゃぶ用) ☆梅干し ・・・1 個
- ・レタス ・・・40g ☆すりごま ・・・小さじ 1
- ・トマト ・・・80g
- ・玉ねぎ ・・・20g
- ・カイワレ大根 ・・・4g

※材料はご自宅にある食材に変更しても大丈夫です。

《作り方》

- ① レタスは一口大にちぎり、トマトは薄切り、カイワレ大根は半分に切ります。玉ねぎはスライスし、水にさらしておきます。
- ② 豚肉は沸騰したお湯で色が変わるまで茹で、冷水で冷やします。
- ③ 梅干しは種を抜き、すりつぶしてから☆の材料と混ぜ合わせてタレを作ります。
- ④ 皿にレタス、トマト、玉ねぎ、豚肉を盛り、カイワレ大根を上へのせ、③のタレをかけて完成です。



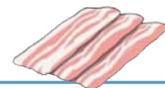
《夏バテに効く栄養素》

クエン酸



梅干しや酢に含まれ、エネルギー生産を助け疲労感を回復させます。また、食欲の増進やミネラルの吸収を助ける効果もあります。

ビタミンB1



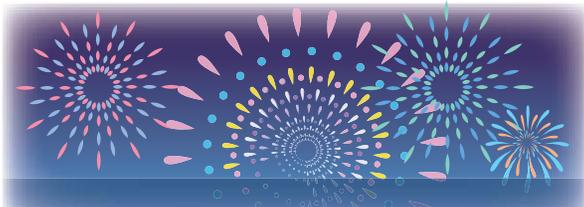
豚肉やウナギに多く含まれているビタミンです。糖質をエネルギーに変えることで疲労回復に役立ちます。玉ねぎと一緒に摂取するとより効果的です。

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和3年7月1日～)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		加藤 武/鹿内 駿	加藤 武/鹿内 駿	加藤 武/鹿内 駿	加藤 武/鹿内 駿	横田 貴志
呼吸器内科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		山本 勝丸	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子
		下山 亜矢子	田中 佳人	田中 佳人	—	田中 佳人
		—	石岡 佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木 明彦	相原 智之	相原 智之	松木 明彦	相原 智之
		山口 公平	間山 恒	松木 明彦	間山 恒	山口 公平
		澤谷 学	高橋 一徳	澤谷 学	高橋 一徳	松木 明彦
		石黒 陽	石黒 陽	高橋 一徳	石黒 陽	石黒 陽
	午後 血液内科のみ	間山 恒	山口 公平	間山 恒	山口 公平	—
脳神経内科		今 智矢	清野 祐輔	—	清野 祐輔	清野 祐輔
小児科		敦賀 和志	佐藤 工	敦賀 和志	佐藤 工	杉本 和彦
		岡本 剛	千葉 智子	佐藤 啓	岡本 剛	佐藤 啓
		徳竹 晴香	石山 永美	千葉 智子	石山 永美	徳竹 晴香
外科		柴田 滋	内田 知顕	柴田 滋	内田 知顕	三上 勝也
		—	堤 伸二	堤 伸二	堤 伸二	—
呼吸器外科		對馬敬夫/畑中 亮	對馬敬夫/畑中 亮	—	對馬敬夫/畑中 亮	對馬敬夫/畑中 亮
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅
整形外科	午前	陳 俊輔	秋元 博之	秋元 博之	陳 俊輔	秋元 博之
		中村 吉秀	中村 吉秀	岩崎 宏貴	中村 吉秀	岩崎 宏貴
		岩崎 宏貴	陳 俊輔	油川 広太郎	油川 広太郎	油川 広太郎
脳神経外科		—	—	木村 正英	—	—
皮膚科	午前	熊野 高行	熊野 高行	熊野 高行	熊野 高行	熊野 高行
		是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		横田 恵	當麻 絢子	追切 裕江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	横田 恵
		當麻 絢子	丹藤 伴江	丹藤 伴江		追切 裕江
眼科		蒔 苗 順義	蒔 苗 順義	—	蒔 苗 順義	蒔 苗 順義
耳鼻咽喉科		西澤 尚徳	西澤 尚徳	(手術)	西澤 尚徳	西澤 尚徳
		松下 景	松下 景	(手術)	緑川 伸	松下 景
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	治療	藤田 環	藤田 環	藤田 環/松山 寛 川口英夫(午後)	藤田 環	藤田 環/辰尾宗一郎 川口英夫(午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		佐藤 温(※予約制/第2・第4木曜日14時～16時)				

- ※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
- ※ セカンドオピニオン外来は第2・第4木曜日の14時～16時です。
- ※ 循環器内科、石田医師の診察は13時～16時です。
- ※ 放射線科、藤田医師・辰尾医師の診断は午後です。



患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことは』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://hirosaki.hosp.go.jp/>